

23-04-19

鉄道輸送の活用による地域価値向上および環境負荷の低減を目的に、 貨客混載の実証実験を実施します

名古屋鉄道は、西可児駅近郊でいちご生産を営む「中電ウイングファーム」(中電ウイング株式会社 代表取締役:古田 真二、本社:名古屋市南区立脇町)と犬山駅構内のスイーツ販売店「ココトモベリー犬山店」(株式会社ココトモファーム 代表取締役:齋藤秀一、本社:犬山市橋爪石畑)と連携し、当該店舗で販売する商品「ウイングいちご」について、西可児駅(可児市帷子新町)から犬山駅(犬山市犬山富士見町)までの間、列車にて輸送する実証実験を実施します。

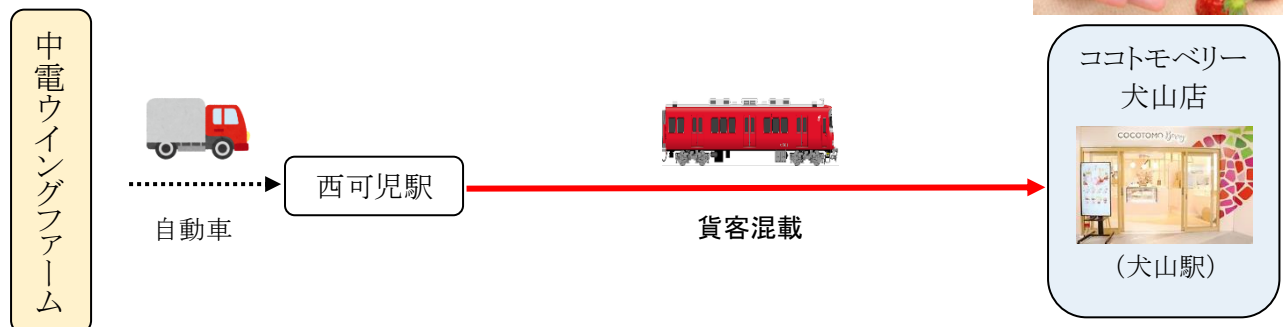
この実験は、列車輸送による所要時間の短縮と輸送コストの削減について検証するため実施します。貨客混載を通じて、地元企業との連携による地域の価値向上および環境負荷の少ない鉄道輸送での持続可能な社会の実現を目指します。

詳細は下記の通りです。

記

- 1.実施日時 4月24日(月)および28日(金)
10時23分 西可児駅発(準急 中部国際空港行) → 10時34分 犬山駅着
- 2.実施店舗 ココトモベリー犬山店(犬山市犬山富士見町14 名鉄犬山駅2階)
- 3.対象商品 「ウイングいちご」
- 4.輸送ルート 中電ウイング株式会社の従業員が、中電ウイングファーム(可児市矢戸)から自動車
で西可児駅まで商品を輸送して、列車に商品を積み込み、犬山駅まで輸送
します。
※西可児駅と犬山駅間は貨物のみで輸送します。

〈イメージ〉



以上